

抗議文とシュプレヒコール!

第25回抗議活動

秋晴れの11月13日、近議員、都議会議員、区議
藤やよい区長を始め国会 会議員の方々と我々住民



施設前で抗議文を読み上げ、シュプレヒコールを繰り返した

協議会の少人数での抗議活動を行いました。これまで抗議活動として年2回のデモ行進を行ってまいりましたが、

昨年はコロナ禍によりデモ行進は中止を余儀なくされ、抗議文のみの投函でした。今年に入って目に見える形で抗議活動ができないかと住民協議会で話し合いを重ね、デモ行進ではなく、30人ほどの少人数で施設前でのシュプレヒコール、抗議文の読み上げ・投函をするという形にしました。

水上会長の挨拶の後、シュプレヒコールに続き、抗議文を読み上げ抗議文を郵便受けに投函しました。投函後、再度シュプレヒコールをして解散しました。



施設近くの公園で挨拶する水上会長(左)

日頃から、皆様におかれましては住民協議会に對してのご協力をいただき誠にありがとうございます。一昨年度までは年2回のオウム真理教(アレフ)の解散を求めるデモ行進を行ってきました。しかし、コロナ禍で200人ほどのデモをやる必要があるのかという声もあり、今年はデモ行進を中止しましたが、春と秋にアレフ施設の前で抗議文の読み上げ・投函とシュプレヒコールのみ

活動を30人ほどの参加者で行いました。地下鉄サリン事件を知らない若い世代が増えた今こそ、住民活動が大事だと思います。住民の関心が薄れることのないように、これからも活動を続けてまいります。

足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会
会長 水上 久志

抗議文

我々は、足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会である。この建物に住むアレフの諸君、よくよく聞いてほしい。

アレフは、新型コロナウイルス感染症拡大時期にあっても、若い世代を対象とした勧誘活動を活発に展開している。

麻原の死刑執行(2018年7月)後も変わらず麻原絶対を明示しながら、麻原に対する帰依を深めるための活動を行っている。施設内の祭壇に麻原が好きなお菓子(スイカ、柿)を供えている。また祭壇に宗教画に加えて麻原の写真を掲げ、信者は現在も祭壇に向かって麻原への帰依を誓う文章を唱えている。

信者である親と共に乳幼児や小中学生らが団体施設に多数出入りしており、アレフは麻原の発言を子供向け絵本にし、分かりやすく片仮名を使いその教えを広めている。

アレフは組織拡大に向け、団体名を隠しながら若い世代を対象に勧誘を拡大している。勧誘は絶対に許さない。

信者の諸君は従前と同じ生活をし、教団に寄付をし、来世への幸せを求道している。信者の諸君は世間一般からは信じられない世界で生きている。今も昔も変わらない。反省もなく、恐ろしい教団と気づいてもいない。

我々は「オウム反対、アレフ反対、絶対反対」をスローガンとしてアレフが解散するまで戦い続けるぞ。

全国の同志と共に活動を展開していく。
アレフが解散するまで戦い抜く。

令和3年11月13日

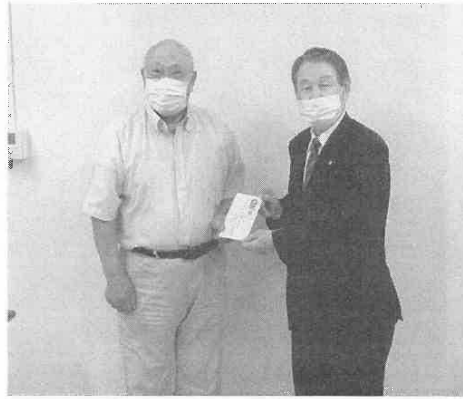
足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会

抗議の象徴 のぼり旗を定期交換



のぼり旗を交換する協議会の人たち

鹿浜地区町会・自治会連絡協議会 協賛金を水上会長へ手渡す



協賛金を渡す鹿浜地区町自治連会長(右)

我々の抗議の象徴でもある「のぼり旗」は、色褪せたり、破れの無い様に定期的な交換をしています。

10月11日、鹿浜地区町会・自治会連絡協議会の会長および2名の副会長

と、我々協議会の水上会長と副会長2名が出席して、舎人区民事務所において鹿浜地区町会・自治会連絡協議会の会長様方よりご厚意の協賛金をいただきました。協議会活動に有り難く有効に使わせていただきます。

住民の声

★アレフの施設の中に居る人達は世の中の事を知らないのでしょうか!! 私達は忘れてはいけません!!

★オウム関連事件の事と絶対に対岸の火事にしか松本智津夫その他幹部ではないけなと思いま

★13名死刑になり、そんな事は全然知らされていない

★えっ、まだ居るの、のかな!!なんでもわりの何処に!と聞かれ、そう

★人達が赤旗を振り、オウムなんですよこの近くにム反対と言っている事が(アレフ)居るんですよ、わからなやか!ーみんな知らなかったの!

★な悪い事をして隠れ場所 彼ら(アレフ)は若者だ。奇跡かな。

★加入にいろんな手段を使いながら活動している。不安を感じる。

★麻原を今も信じ教祖として奉る行為が理解できない。

★今、時代の地域社会の中で共生しながら、助け合いながら生活していくものだ。

★多くの資産を持つアレフは被害者に賠償金を払って欲しい。差し押さえて欲しい。

協議会活動報告

- 令和3年
- 6月25日(金) 協議会ニュース23号発行
 - 6月25日(金) 実行委員会開催 舎人地域学習センター
 - 10月11日(月) 鹿浜地区町会・自治会連絡協議会会長有志による寄付。舎人区民事務所にて受領
 - 10月15日(金) 実行委員会開催 入谷住区センター
 - 11月13日(土) オウム真理教(アレフ)への抗議活動
 - 11月19日(金) 実行委員会開催 入谷住区センター
- [令和3年6月から11月まで]
(この間執行役員会は6回開催しました)

募金・協賛金

日付	名称	金額
7月11日	川口市朝日5丁目町会様	5,000円
"	川口市朝日6丁目南町会様	5,000円
"	川口市朝日6丁目北町会様	5,000円
"	川口市末広3丁目町会様	5,000円
"	川口市弥平2丁目町会様	5,000円
"	川口市弥平3丁目町会様	5,000円
"	川口市弥平4丁目町会様	5,000円
9月8日	入谷町会助成金	150,000円
10月11日	足立区鹿浜地区町会・自治会連絡協議会	50,000円
10月15日	匿名	10,000円
計 10件		245,000円

[令和3年6月1日から11月30日まで]
皆様のご協力、ご支援ありがとうございました。



6月以来4か月ぶり 実行委員会を開催

足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会

コロナ禍による緊急事態宣言が解除され、10月15日に6月以来4か月ぶりに実行委員会を開催しました。

募金・協賛金のお願い

協議会の活動は、募金・協賛金で運営されています。安全・安心な町をとり戻すために、是非皆様のご支援・ご協力をお願いします。

足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会
東京都足立区舎人 1-3-26 電話 080-2378-3537